

こども園自己評価の報告書 東丘こども園

評価項目	取り組み状況
<p style="text-align: center;">教育・保育方針 教育及び保育の目標 全体計画・指導計画 こども園として特に配慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育課程 ・教育環境の整備 ・研究の取り組み 等 	<p>「人と豊かにかかわりあい、主体的に遊び、生活する力を育てる」をテーマに一人一人の違った表現の仕方を大切に保育者が関わり、この遊び楽しい、もっとやりたいと思えるよう音楽の力を活かす研修などもうけながらすすめる。また、子ども理解を基本に保育環境の工夫や改善、保育の展開をしていくと共に「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識して日々の教育保育に取り組んでいることをドキュメンテーションなどで伝え発信した。</p>
健康支援	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ流行対策として園児をはじめ保護者、職員の健康状態の把握を行った。 ・ほけんだよりを通じて、家庭でできる健康を維持するための取り組みの情報や年間を通して保健行事や日々の対応時での子どもの成長も合わせて発信した。 ・各検診前には、身体の各部位のお話や検診器具、受診の仕方など保健指導を行った。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、安全点検を行い、園庭の固定遊具や保育室等の不具合のある場所には対策を講じた。 ・避難訓練は、災害時の想定を様々な角度から行う。2次避難先として近隣小学校への避難や消防署員に総合訓練として実際の通報や避難方法等についての講評を受け、水消火器による消火訓練も実施する。 ・交通安全は、5歳児を対象に警察官によるオンラインで実施。交通ルールが意識できるよう映像なども見ながら指導を受ける。
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・菜園活動で野菜の生長を楽しみ、採れた野菜でそれぞれの年齢に合わせたクッキングを時に技能職員も入りながら行う。イモ類の重さを計る経験をしたり、自分が食べられる給食の量を知るという意味で盛り写真を掲示したりと各クラスでも工夫をして食育に取り組む。 ・年長クラスは出汁の味見体験を行い、味噌汁の作り方も知らせる。
<p style="text-align: center;">子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園している子どもの保護者 ・地域の子育て家庭 ・地域との連携 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の様子を添えて掲示し、送迎の際に子どもの様子を具体的に伝えたり、コドモンによるおたよりの発信回数を昨年度より増やしたりし、保護者との信頼関係を築くことに努めた。また、乳児クラスは保育参加、参観を行うことで発信していることが見える形で伝わったと感じる。 ・地域事業は感染症で中止の時期があったが、食の講座、育ちの講座や月例の事業などで相談を受け、子育てに対する不安の軽減に努めた。 ・校区連絡会は東丘、北丘校区合同で開催。校区の地図を用いて、あそび場や支援の場、提供方法などを共有する。
教育・保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児はしっかりと思いを受けてもらい日々の遊び生活の中で友達や保育教諭とまねっこしたり、誘い合ったり、笑い合いあったりすることで人と関わる事の心地よさを感じられる土台づくりを進めていった。 ・幼児は、子ども達が主体的に友達と楽しく活動する中で、自分の気持ちを出し、相手の思いを聞き、折り合いをつける、協力する、諦めないでやりとげようとする力などをつけられるよう、日々の関わりや教育保育内容を考え、子どもたち一人一人がやり遂げたことが自信や意欲につながるよう進めた。
<ul style="list-style-type: none"> ・養護・健康・人間関係 ・環境・言葉・表現 	

<p>特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向を聞きながら作成した『個別の支援計画』を基に『個別の指導計画』をたて実践した。担任間で課題や支援の方法について出し合い、個々の子どもの特性をふまえ、集団の中での育ち合いを大切に考え教育保育を進めた。 ・5歳児の保護者には就学に向けての相談を行う。また丁寧な関わりが必要と思われる児については、児童発達支援センターと連携をし、保護者とも共通の認識を持ち今後の課題を共有した。
<p>職員の資質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのクラスが取り組んでいる活動の内容をより深めるため教育保育ガイドラインを一部ではあるが、活用し、振り返りや課題の見直しを行った。 ・アドバイザー研修での公開保育で実際のこどもの姿からより具体的に学ぶことができ、環境設定、子ども理解、発達段階の理解などが共有できた。
<p>幼保こ小中の連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・八中地域教育協議会主催の『千里ふれあいフェスタ』は開催方法を検討し、3年ぶりの開催。5歳児が舞台発表で運動会の時に踊ったパーランクーを披露し、大勢の方に観ていただいた。地域の方とのふれあいも出来たことで連携の大切さを改めて感じた。 ・東丘小への学校訪問では就学に対する期待が膨らむ機会となり、また各就学校からの訪問には、引継ぎを丁寧に行った。
<p>関係者評価の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会は、運動会予行と地域支援事業をご覧いただいた。地域支援事業の0歳児サークルで技能員による離乳食紹介や5歳児が少し距離を置きながらも手遊び等をする様子などをみて、こども園ならではの支援に細やかな配慮があるとご意見もいただいた。参加いただけなかった評議員の方には、写真付きでいろいろな活動の取組みをお送りする。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境部による出前講座でごみの学習を行うことで、環境への興味、関心を持つ入り口となった。

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課題	具体的な取り組み方法
<p>教育・保育内容のさらなる充実と伝え方の工夫</p>	<p>公開保育の持ち方や内容を検討し、環境ガイドラインの活用もすすめていきながら、保護者には、より伝わりやすいよう引き続きドキュメンテーションやコドモンでの発信をしていく</p>
<p>保護者支援</p>	<p>日ごろのやり取りの中から保護者の不安感などを掴み、個々に細やかに声掛けしていく。また、いつでも相談できる雰囲気づくりや場の設定などを職員と共に考える。</p>

令和5年（2023年）3月31日

豊中市立東丘こども園

園長名 豊留千加子